

# 陳情第5号 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

## 討論一覧

### 賛成討論 門原武志 議員

多様化する住民サービスへの対応のみならず、新型コロナ対策、災害対策には国による財源保障が必要であり、賛成。

### 反対討論 中野まさひろ 議員

本陳情の陳情項目のうち4.の後段「地方公務員の人件費や人員の削減など「行革努力」を反映する地方交付税の算定や、「トップランナー方式」は廃止すること」について、私の考えを述べさせていただきます。「トップランナー方式」は、歳出効率化に向けた業務改革で他団体のモデルとなるようなものを地方交付税の基準財政需要額の算定に反映する仕組みであります。基準財政需要額の算定にあたっては、第1に、条件不利地域等、地域の実情に配慮するとともに、地方交付税の財源保障機能が損なわれないようにすべきであること。第2に、地方の改革意欲を損ねることのないよう、地方団体の行財政改革により生み出された財源は地方に還元すべきこと。以上2点が確保される必要がありますが、一概に否定すべきものではないと考えております。したがって、陳情項目の4には賛同できません。

### 反対討論 水川 淳 議員

国の方向性にも関わる内容であるため、多少主観が強い討論となるが容赦願いたい。求める意見の一つ一つは、まさに今、政府が全力を挙げて取り組むものばかりで、納得である。だからこそ、自民党総裁選挙の結果による新しいリーダーの活躍、まもなく迎える衆議院選挙の結果を踏まえた新しい国会構成や政府の刷新、その先にある成果に期待したいものである。あえて意見書を付する性質のものではなく、本陳情の採択は不要と考え反対する。